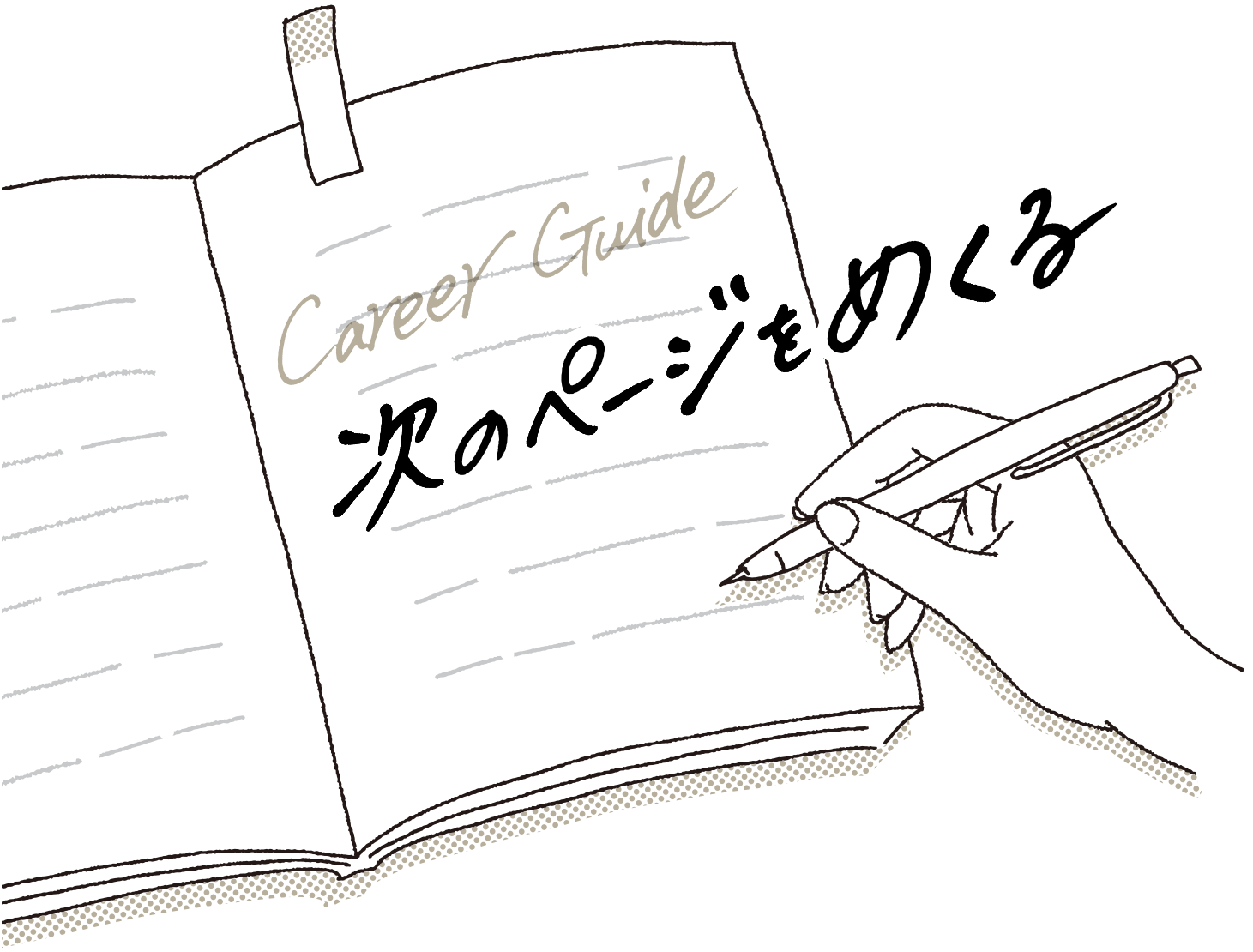
国立大学法人等職員 **仕事ガイド**



国立大学法人等グループ（北海道地区）

国立大学法人とは…

国が財政的に責任を持ちながら、自主・自立という大学の特性を活かした運営が可能となるよう配慮された独自の制度により設置された法人です。事務職員・技術職員の採用にあたっては、国立高専等と連携して「国立大学法人等職員統一採用試験」を実施しています。

事務職員の仕事

試験申込時に、事務系（事務または図書）を選択いただくことになります。

経営企画

法人経営における意思決定を支援する

- 将来構想、大学改革
- 大学経営の企画・評価
- 業務改善推進

総務・人事

事務全般を総括する組織運営の要

- 諸行事の運営
- 法務
- 広報
- 情報公開
- 教職員の採用
- 人材育成
- 給与・福利厚生
- 人事制度

財務・会計

経営の視点から財務基盤を安定させる

- 予算・決算
- 物品調達
- 旅費
- 資金運用
- 財務分析
- 会計監査

教務・入試

入学から卒業までをサポート

- 入学・卒業等の管理
- 履修・修学指導
- 授業評価・教育方法の改善
- カリキュラム編成
- 入試広報（オープンキャンパス）
- 入学試験

学生支援

キャンパスライフを支える

- 学生生活
- キャリア支援
- 課外活動支援
- インターンシップ
- 奨学金、入学料・授業料免除

国際交流

教育・研究のグローバル化を推進する

- 外国の大学等との学術交流
- 外国人研究者・留学生の受入
- 研究者・学生の海外派遣

研究推進

外部資金の獲得から研究環境の整備までをコーディネート

- 研究資金の獲得
- 研究環境の整備
- 研究者の育成・交流支援

産学連携・社会共創

産業界・地域との共創から社会課題を解決する

- 産学官連携、地域連携
- 寄附講座、寄附研究
- 共同研究・受託研究
- 知的財産
- 利益相反マネジメント
- 公開講座

情報システム

デジタル化を推進する

- システムの運用管理
- 情報ネットワーク
- 情報セキュリティ対策

医療支援

医療事務から病院経営までを担う

- 病院運営
- 地域医療支援
- 医療情報システム
- 診療費の計算・請求・収納

図書

附属図書館から教育・研究を支える

- 図書館の運営
- 資料の管理・保存・点検
- 学習支援
- 他機関との相互利用・文献複写

公式Webサイトから、業務内容の詳細・職員インタビューをご覧いただけます

技術職員の仕事

技術系の試験申込時に、11区分（電気、機械、土木、建築、化学、物理、電子・情報、資源工学、農学、林学、生物・生命科学）から一つを選択していただくことになります。

技術（施設系） 歴史と伝統を継承しながら、最先端のキャンパスを創造する

- 施設整備・調査
- 設計施工監理
- 維持管理

関連資格
- 建築士
- 技術士
- 電気主任技術者
- 建築設備士
- エネルギー管理士
- 施行管理技士など

施設系技術職員とは

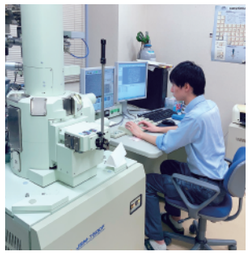
国立大学法人等において、施設整備計画の立案から設計・工事監理・維持管理・改修工事などを担当する技術者です。
国立大学法人等には、文化財から最先端の教育研究施設まで多様な施設があります。
技術職員は、総合的かつ長期的視点に立って、キャンパス全体をマネジメントし、良好な教育研究環境を支えています。

技術（教育研究系） 最先端の教育研究を支えるスペシャリスト

- 教育・研究の技術支援
- 実験・実習
- 実験データの測定・処理・分析

教育研究系技術職員とは

さまざまな分野の教育・研究活動を円滑に進めるため、学生・研究者の支援を行うスペシャリストです。
専門的な技術に基づいて実験の準備や技術指導等を行っています。
近年は、研究者とともに課題解決を担うパートナーとして、重要な人材と位置づけられており、道内機関での相互派遣や研究者との協働のほか、研究支援人材マネジメント研修の実施など人材育成が強化されています。



公式Webサイトから、業務内容の詳細・職員インタビューをご覧いただけます

ほくだい技術者図鑑

国立大学法人とは…

北海道大学で働く新卒採用の職員3名による座談会で、
入職から今までのリアルな声を聞いてみました。

北海道大学 新任職員 座談会

discussion meeting

北海道大学オープンイノベーションハブ
「エンレイソウ」に新任職員3名を招き、
業務のこと、同期のこと、そして今後の展望など、
ざっくばらんに語っていただきました。

澤田　大学職員になろうと思ったきっかけは？

前田　学生時代、教育支援について学び、アカデミック[illegible]仕事に携わりたいと思っていました。その中で自然と大学職員を志望し、特に産学連携に着目していました。今の仕事で産学連携に直接携わることはありませんが、北大の研究の影響力を実感します。

澤田　確かに。どの部署にいても、研究機関であることを感じるよね。

西川　最初は公務員志望でした。就活中、高校時代の先生にお会いした際、大学職員という職業を教えてもらったことがきっかけです。

澤田　大学職員って、学生にとって、身近な存在であるはずなのに、就活となると見落としがちだよね。公務員ではなく、大学職員を選んだ理由は？

西川　どういう職場で働きたいのかって考えたときに、大学は、学生がたくさんいて活気があっていいなと。

澤田　仕事で関わる人って、思っているより重要だと思う。自分も学生からエネルギーをもらって仕事ができている感じがします。

柴田　漠然と何かに貢献したいと思っていました。北大には、世界を驚かせるような研究も地域に根差した研究もあって、幅広く社会に貢献していると思います。自分もその一助になりたいと思ったことがきっかけです。というのが面接で話した内容で、実際はとにかく北大職員になりたいとしか思っていませんでした。

澤田　柴田さんからは、強い意志を感じます！

澤田　大学職員って窓口業務のイメージ[illegible]んの業務を教えてください

前田　総務課で主に法人文書の管理や[illegible]ます。入職した時は、そもそも「法人文書って何？」っていう状態でした。郵便業務もプライベートで郵便局に行くことはあっても、仕事で郵便局と関わることは無かったので、わからないことが多く、まだまだお勉強中です。

澤田　総務って割とルールが決まっていて、そのルールに沿って処理していくみたいな感じ？

前田　そうですね。基本的には前にやっていた方の痕跡をたどって、仕事を進めていくことが多い気がします。

柴田　理学部の人事担当です。人事って、採用以外に何をしているのかイメージできていませんでしたが、教職員の通勤手当などの認定や共済（年金・保険）関係の手続きも行います。僕の主担当はTAなどの非正規職員の任免、出勤管理、給与計算です。　※TA：学部の授業補助などを行う大学院生

澤田　理学部のTA ってどれくらいいるの？

柴田　延べ人数になりますが、年間で900人くらいです。

澤田　それを柴田さん一人で！？

柴田　任免は僕一人で全て行いますが、給与計算は他の担当者と協力して行っています。件数も多いので、仕事を終えたときは、達成感がありますね。

澤田　仕事の達成感って、大事だよね。西川さんはどうですか？

西川　調達課で役務契約を担当しています。入職した直後は、「役務って何？」って思っていました（笑）私は、役務担当として、清掃・警備・除雪などの契約や発注を行っているのですが、いろんな部局からいろんな発注依頼があります。「こんなのあるんだ」っていう発見もあって、ちょっと楽しいです。印象に残っているのは「サル使用料」みたいな（笑）

澤田　そんな発注もあるの？！確かにそれって面白い。

澤田　大学職員になってからの発見やギャップってありますか？

前田　入職する前から、公務員っぽい仕事をするんだろうなと思っていたのですが、北大は2026年に150周年を迎えるということもあり、記念事業にほんの少しだけ関わる機会がありました。オリジナルグッズを作るっていう業務で、具体的には何も言えないのですがその時だけは本当に“ぽわぽわ～”みたいなかわいい感じの仕事でした。〇周年って歴史が増えれば増えるほど堅いイメージだったのですが、こういうゆるふわな感じの仕事は事務職員って感じの仕事じゃないなって思いました。

柴田　僕のイメージだと、理学部という組織の中にすべての研究施設が集約されていると思っていたのですが、スラブユーラシア研究センターや化学反応創成研究拠点（ICReDD）のような〇〇学部に属さない研究施設があるのには驚きました。学生が普段授業で行くことのない研究施設の存在って、大学職員にならないと知ることがなかったと思います。

澤田　確かに。講義を持たないで研究に専念している教員・研究者もいますからね。

前田　仕事以外の発見だと、キャンパス内の自然がすごいです。夏に咲いていたライラックが大通公園の3倍くらいありました（笑）土地も広いですが植物も大きい。

澤田　思っていたより、キャンパスが広い、自然が豊かっていうのは、日々感じるよね。

澤田　大学職員にはどんな人が向いてると思いますか？

前田　協働的な人が多く、チームで仕事をする風土があるので、一人でやっていきたい人よりは、みんなでやっていく人が向いていると思いますね。

澤田　一人で完結する仕事はあまりないから相談しながら進めていくことが多いよね。

柴田　既存の手順だと学生にとって分かりづらいなと感じたときに、上司と相談してその手順を変えたことで上手くいった経験があります。なので、主体的に動いて、周りを巻き込んでいける人が向いていると思います。

西川　私はリーダーには向いていない性格で、どちらかというと裏から支える側で役に立ちたいと思っていました。大学職員はそういう人に向いていると思います。人とのかかわりはもちろんあるけど、学生や教職員の活動を裏から支えることが多いので、今までそういう役割が多かった人はいいのかなと。

澤田　ワークライフバランスについてお聞きします。休暇は取得しやすいですか？

柴田　そういうイメージがありましたが、そのとおりでした。当日になってから、午後に有給休暇を取得して気になっていたお店にランチにいったこともあります。

前田　本当に休みやすい環境です。電車が止まって出勤できなかったときに特別休暇を取得できたりと休暇の種類も多くて驚きました。

澤田　リフレッシュ休暇（連続した3日間の休暇）は取得した？

西川　９月に取得しました。誰かが休暇を取得してもフォローができる体制があるので、安心して旅行に行けました。

澤田　半年間、働いてみた感想は？

柴田　とても居心地のよい環境で、大学職員を辞める理由が見当たらないです。大学職員を辞めるときは、仕事を引退するときです！希望どおりの部署ではなかったですが、実際やってみて、人事担当でよかったです。現在の目標は、人事のスペシャリストになることです。

西川　私は、実際に働いてみて、大学には様々な業務があることがわかったので、現在の業務で経験を積みたい気持ちと同時に、会計以外の仕事にも少し興味があります。

前田　元々は、産学連携に興味がありましたが、ノリで行けると思ってしまうタイプなので、採用が総務課でよかったです。何をするにはどこの許可が必要なのか、どういう手順を踏むべきかなど、仕事の基本をしっかりと学ばせていただいています。

澤田　今日は3人のフレッシュな意見に私も刺激を受けました。これからそれぞれのフィールドで輝く姿を楽しみにしています！

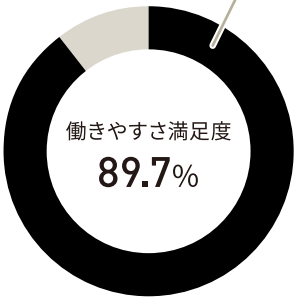
この仕事を選んでよかった

北海道内で勤務する職員を対象に
「国立大学法人等職員の魅力」調査を実施し、
300名から回答を得ました。

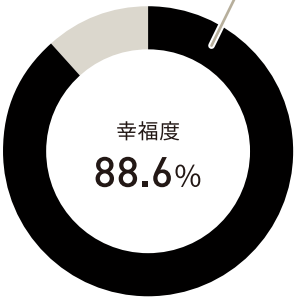
仕事の魅力

- 学生の成長が見られる
- 社会の発展に寄与できる
- 自治体、企業など幅広い業種の方々との関りの中で成長できる
- 仕事とプライベートの両方を充実させられる
- 自分のペースで仕事ができる
- 福利厚生が充実している
- 安心して働くことができる
- 人生設計を立てやすい
- キャンパスで働ける

働きやすさについて、
「とても働きやすい」、「どちらかといえば働きやすい」と回答した割合



仕事・プライベートなどを総合した
幸福度について、「とても幸せ」、
「どちらかといえば幸せ」と回答した割合



人材育成の取組

人事異動・人事交流

幅広い経験を積んでいただくため、概ね3年毎に他の部署への異動を行っています。
また、本人の希望等を勘案し、他機関との人事交流も行っております。

職員研修

職員の能力向上のため、階層別、実務別の研修を行っております。このほかにも、各機関が独自に研修を企画するなど、職員の能力開発・育成に積極的に取り組んでいます。

研修事例	
○文部科学省行政実務研修	○情報化講習会（Microsoft Copilot）
○海外語学研修	○事務職員異文化コミュニケーションスキル研修
○放送大学利用研修	○初任事務職員フォローアップ研修

●北海道地区 国立大学法人等職員　統一採用試験実施委員会

次の機関により、構成しています。各機関の採用予定数等は、決定次第、Webサイトに掲載いたします。

国立大学法人

- ■ 北海道大学
- ■ 北海道教育大学
- ■ 室蘭工業大学
- ■ 旭川医科大学
- ■ 北海道国立大学機構
  - □ 小樽商科大学
  - □ 帯広畜産大学
  - □ 北見工業大学

独立行政法人

- ■ 国立高等専門学校機構
  - □ 函館工業高等専門学校
  - □ 苫小牧工業高等専門学校
  - □ 釧路工業高等専門学校
  - □ 旭川工業高等専門学校
- ■ 国立青少年教育振興機構
  - □ 国立大雪青少年交流の家
  - □ 国立日高青少年自然の家

●選考スケジュール

12月下旬頃	国立大学法人等グループ会員サービスに登録	
5月	第一次試験 受験申込	※事務/図書/技術（11区分）の試験区分から1つを選択
6月下旬頃	第一次試験 教養試験	（出題数40題 120分）
7月下旬頃	第一次試験 合格発表	合同説明会（道内大学・高専が参加）
7月下旬以降	第二次試験	（各機関で面接等を実施）
	採用内定	

一部の国立大学等では、統一採用試験に加え、独自選考による採用活動を行っております。
独自選考の詳細については、各機関Webサイト等から確認してください。

国立大学法人等職員
統一採用試験

国立大学法人等グループ（北海道地区）公式Webサイト
https://univ-staff.hokkaido.jp/